

和蘭勞瘵篇

全

×

21

F  
才-48

493.89  
Or

No  
3226  
IR 0.21



富士川文庫

2910

和蘭勞瘵篇



蒲岡加兒都實一著  
宇田川棊齋公譯

大較ヲ論ス

此病ハ總身消耗スルナリ其起原多クハ肺臟  
膿瘍ナリ此二内伏熱ヲ兼子數々效膿及血  
ヲ唾出ス

患所ヲ論ス

此病ノ患害ヲ蒙ル所ハ大抵肺藏血ナリ而  
此ヨリ身體固形諸部ニ及フ

區別ヲ論ス

醫家此ヲ三等ニ別ツ第一ハ其消耗スルヲ未  
タシカニ顯レズ第二ハ多肉ノ部分格別ニ  
目立チテ消耗瘦削ス第三ハ皮力骨ニ懸ル  
ノミニテ盡ク柴瘦骨立スルナリ又此病傳  
染シテ得ルモノアリ先天遺傳アリ他病ニ

ツイテ特發スルアリ

徵候ヲ論ス

身體瘦削枯消シ欬嗽或ハ膿及血ヲ欬唾シ内  
伏骨蒸熱ヲ發シ此レ力食後ニ於テ増盛シ  
五心煩熱脇腹滯熱ス

病因ヲ論ス

惡液過多ノ人及稠厚ノ血ヨリ起ル此レ力彼  
此諸藏コトニ肺臟ニ汚染而シ其酷癘毒ニ  
因テ腐壞ヲ爲シ膿瘍トナリ或ハ頑硬ノ結

腫ヲ爲ス此患部ヨリ血力不斷諸部へ循行  
スルヲ以テ再ヒ其病毒力彼此諸部ニ浸滯  
シテ同ク耗消枯消スルニ至ル又此病凡ソ  
胸膿病肺藏膿瘍肺藏焮腫或肝脾腎子宮等  
ノ膿瘡其他久年痼病喘息病閉塞腹水等ヨ  
リ變スルモノアリコレハ以上ノ諸病ノ病  
毒酷厲液力終ニ肺藏ニ波及浸流シ而又腐  
壞ヲ爲シ終ニ惡性ノ膿瘍釀成ス  
凡コノ病因ハ血力稠凝シテ肺藏ニ留着シ

而メ漸々ニ腐壞ヲ爲スナリ則此病因ハ血  
力肺藏ニ於テ焮熱沸騰スルナキナリ何  
トナレ斷ヘス膿敗ノ汚液力肺藏ニ浸流シ  
テ直チニ腐敗ヲ誘發スルカユヘナリ此ニ  
因テ血力重ク滯滯シ輸養スル乳糜液ヲ少  
サラシ終ニ肺藏ヲ養榮スルナカラシメ  
テ以テ此ニ次テ總身枯耗スルニ至ルナリ  
食後ニ熱増發スルモノハ新ナル輸養ノ液  
力外騰運動スルニ由テ固有ノ舊稠血力運

行ノ勢ヲ増シ而メ細脈纖絡ノ内へ速ニ通行流透スルヲアタハサルヲ以テ鬱滯澁滯シテ熱蒸ヲ發スルナリ  
初發ハ速ニ治シ易シ前ニ云第ニ等ノ症ニ至ツテハ甚夕復スルヲ遲シ第ニ等ノ症ニ至ツテハ治スルヲ速シ其唾惡臭アリ  
髮毛脫落及下利ヲ發スルハ死徵トス先天遺傳ノ症ハ治スルヲナシ

治例ヲ論ス

先ツ最初ニ宜ク良血ニ復シ及稀薄ニシテヨク流渙スルヤウニ爲スヘシ第ニニ其成醸スルモノハ宜ク其膿ヲ驅出シ其創瘡ヲ瘥スヘシ第ニニ食物養生ニ由テ其精力ヲ復スヘシ

胸肺ノ汚物ヲ清淨スル藥劑ハ脇痛病喘息病肺臟膿瘍等ニ詳載ス  
又 泥菖根 土白蜀葵根 土木香根

金剛刺根 土茯苓根  
 シアール ヲル トル 根  
 ヘイソツ フ草 巴コセルラ草  
 地榆草 胭脂草 茶湯 コツヒ湯  
 コロラ 野全乳汁 田驢乳汁  
 馬乳汁 牛乳汁 婦人乳汁  
 スヒリチ ヽスニサリア 及ヒニ其類  
 チンクチ ヽラ血ホラチレス等ナリ  
 治法ヲ論ス

最初ニ且ク身腹ヲ清淨スルニ 大黃 甘露  
 蜜 阿没勒 正李 等ヲ用ユヘシ 或後方ヲ  
 用ユ  
 阿没勒 八錢  
 右爲 舐劑  
 又日用食物ノ善化榮養シテ良糜ヲ製成シ  
 身體ノ精液ヲ立ルモノハ 便チ 雞卵羹  
 雛雞肉羹汁 特牛肉 雜全肉 甘乳汁ト

雞卵ト合セタル羹汁 雉肉 兔肉 巴且  
 杏 米 鯉魚 立ホス 鮫魚等ナリ  
 又膿ヲ驅出スル胸肺藥ハ脇痛病及喘息病  
 ニ記ス撰用スヘシ又其瘡ヲ清除シ瘡スモ  
 ノハハ 硫黄ハルサモ チンク子ユラ シ  
 ユルフリス 琥珀 洎夫藍及 此類甚良  
 ナリ其瘡ヲ痊スニ宜ク毎日テレメシテイ  
 ナノ丸藥ヲ五六粒ノムヘシ或又後方ヲ用  
 対子ニ宜ク長期ニ撰用スルニ 大黃 甘草

毛ニヤ子ヤ  
 テレメシテイナシ又身ハ煎者四錢五ノ外  
 ハルサモ 八分ノ外ハ二粒ノ外  
 コツハイハ 五分ノ外ハ二粒ノ外  
 甘草 隨且  
 右合丸藥トナスニ 蘇合香丸ト出スルニ  
 如此劑ハ硫黄様ノ物及風化揮發鹽アリテ  
 血中ノ酸壞液ヲ驅消ス何トナレハ酸液ノ  
 尖利ナルモノカ油様ノ纖維中穿入スル

宛モ刀ノ鞘ニ刺シイル、力如シ此ニ慄悍  
揮發ノモノヲ入レ刺スドキハ揮發シテ渙  
融シ血力運動シ稀散シ其酸液病毒ノ血中  
ニ固着スルモノヲ推盪壓出ス故ニ曰ク諸  
血液流動稀渙スルヲ得ルナリ  
治法唯酸壞液ヲ脱除スルニアリユヘニ龍  
腦甚良藥トス何トナレハ龍腦ハ矢ニ揮發  
鹽ノ有ルモノナリ又良効アル藥劑宜ク後  
方ヲ用ユヘシ

チンクチユラ ジユルフロリス  
スノ方

カナリス酒

二百錢

硫黃花

四十八錢

右合シ煖砂ニ置テ溶化スルヲ十二時而メ  
用ユ此劑胸肺ニ熱ヲ生スルヲナクシテ甚  
良ナリ

又方

ミ、ラアテ末

十六錢



テレヒンテイナ精

五分

龍腦

六厘六毛

チンシ子ユラ シユルブ シムフレキ

四錢

右調勻

又方

連錢草精

鈴蘭精

各十六錢

サルニホヲ知レヨシヲサセ井ルビ

三龍腦 二錢

洎夫藍 五分

甘草汁 四錢

ヒヲ以テ服ス

又方

硫黃花 二錢

アノ子モ二子アホレ 一錢

洎夫蘭 三分三厘

蝟蛄石

三錢三厘

甘草汁

ハルサモ

へルヒヤニ

二十四錢

龍腦火酒精

二十滴

右合烏錠

醫師ウイリリス稱用スルハゴツフ方

燕麥粉

三日水ニ浸シ少シク酸味ヲマフルニ至テ  
漉過シ煎熬シ斷ヘス攪動シテ沸工溢レテ

ラシメ而メ別器ニウツシ冷シ舍利別ノ如  
キカケンニ凝固セシメ用ユ又茶湯ハ酸壞  
液ヲ小便或蒸氣ヨリ驅泄セシム甚良ナリ

勞瘵篇終一客并スルニ三歲醫之入五密ニマ  
入イ、子ニ為ルマ科ニ遊ニ輪家所續ノ哉  
及ク此書ヲ亦ハ去主ノ文マムノナリ余抄  
ナク共主ノ醫ニ於ク味覺ヲ實テ味ヲ蘭ニ  
勞瘵篇終一客并スルニ三歲醫之入五密ニマ

予皇都二客在スル一三歳醫ヲ反正齋ニマ  
ナフ先生ノ醫ニ於ル和漢ヲ貫キ兼テ蘭ニ  
及フ此書モ亦乃先生ノタマモノナリ余性  
人トモ二鳥ルヲ好ム遂ニ師家所藏ノ活  
板ヲ力ヲ用テ數本ヲ製シ此ヲ同志ニ頒ツ  
ト云

阿陽ノ藍山居士識

附録

此ヨリ以下ハ原書ノ載スルトコロニ非ス  
予諸蘭書ヲ看ルノアイタ勞瘵ニ用ユヘキ  
方ヲ抄出セルナリ今敢テ私ニ秘セス好座  
ノ諸君子トモモニス

藍山居士識

玫瑰灌

紅玫瑰花曝乾スル者 四錢

洋糖 冰糖ヲ代用ス 八錢

石膽油 五分

温湯 二百五十六錢

右先ツ瓦器ヲ以テ温湯ヲ盛リ玫瑰花ヲ浸ス  
一四時次ニ油ヲ混和シ漉過メ洋糖ヲ入  
レ烱閉セシムナリ今延マズニ延シテ  
主治月經洪漏メ止マス及ヒ其他吐血下血  
ヲ止ム每服一蓋ヲ取テ三四時毎ニ用フ是  
レ收斂劑ノ和力ナル者ナリ

居士云潮熱欬唾血等ノ症アルモノニ用  
テ神功アリ

肉桂露 上好肉桂 九十六錢

右一味搗キ碎キ水一貫百五十二錢火酒二  
百二十八錢ヲ以テ浸ス一ニ日ヲシヒキニ  
テ露七百六十八錢ヲ取ル

主治心臓ヲ強壯ニス

浥香散

蘇香紅玫瑰花

十五錢

主甘草 蘇香紅 蘇香紅 蘇香紅

七錢

沈香 百六十八 蘇香紅 蘇香紅

佛手柑皮

白檀 蘇香紅 蘇香紅 蘇香紅

桃膠

肉桂 蘇香紅 蘇香紅 蘇香紅

各二錢六分六厘

肉豆蔻

二錢五分

蘇香紅 蘇香紅 蘇香紅 蘇香紅

益智

葶拔

各一錢

主治胃ノ衰弱ヲ強壯ニシ食物ノ消化ヲタ

ス夕惡心嘔吐ヲ止メ風氣ヲ驅散ス

居士云嘔吐清利欬嗽ヲ兼且熱アルモノヲ

ヲ治ス

百香散

迷迭香花

八錢

紅玫瑰花

紫欄羅花

甘草

各六錢

良姜

乾姜

沈香

肉桂

丁香

肉豆蔻花

甘松

ア子イヌススル今小茴香ヲ代用ス

益智

各四錢

右十三味末ト爲ス

主治神志ヲヨロコハシ又鬱憂ヲ散シ神氣

及腦ヲ強壯ニシ昏冒昏睡病ヲ治ス

居士云勞症又氣ノカタナト俗ニイ、テ百

方功ナク年月ヲ經テ遂ニ勞瘵ニヲチイル

モノ世ニ多シ早ク此劑ヲ投スレハ治セサ

ルナシ

養神丸

阿片上好ノ毛ノ一厘六毛

石鹼

適宜

右ニ味合メ椒目大トサス毎服ニ丸

主治子ムリヲ催シ精神ヲ息セシム

藍山云俗ニ云カンノ丸ニテ寢力又凡モ

ノ少許ツ、服スヘシ

菓醬

林檎ノ熟スル者ヲ取り皮肉ヲ連子石臼

内一入レ搗キ爛ニ絞テ汁ヲ取り土鍋内

ニ入スヨシクアタ、メテ桶内ニ収メ覆

蓋メ窖中其他煖處ニ置ク一五十日許澄

清ナルヲ候ヒ漉過シテ滓ヲ去リ又置ク

一ニ三日ニメ其澄清ヲトリ又桶ニ入レ

二三日ヲ過テ又其澄清ヲカクムケトリ

濁渣ノ底ニアルヲ去ル此ノ如クスルヲ

數次全ク澄清トナリ酒氣ヲ生スル才以

度トナシテ止ム

主治滋乾潤燥シ又壯熱ヲ解シ胸膈ヲ利シ  
煩渴ヲ止メ心藏ヲ強壯ニシ且ツ鬱憂ヲ  
療ス

居士云口中粘リ乾クヲ苦シム者必カクヘ  
カラス其用ヒテレサルヲ以テアヤシム  
ナカレ

玫瑰糕子

玫瑰花九十六錢ヲトリ白中ニ入ツキ爛  
シ冰糖二百九十二錢ヲ加ヘ徐々ニ混和

糕子ト爲ス

主治多ク健胃劑ニ和シ用フ又勞瘵貧ノ欬  
嗽及肺血ヲ治ス此糕子十二錢ヲ取り乳汁  
ニテ烱解シ用フ

居士云玫瑰花ハ和漢多ク試用ヲ經ス而メ  
本邦濱海尤得ヤスシ俗ニハマナス

トイフ蘭人ハ日用トス此ヲコ、ロムルニ  
實ニカクヘカラサルノ品ナリ嗟藥圃中ノ  
遺賢豈タ、コレノミナランヤ當路ノ人其





主治粘稠液ヲ稀シ驅散ス又胸肺病ニ最良  
ナリ如何トナレハ痰ヲヨク吐出シ呼吸ヲ  
利シ諸藏ヲ清除シヨク食ヲ消化ス

桃膠散

桃膠

コムタヲカスシト出ス

小麥糊 各三錢

白罌粟仁 十錢

馬齒莧子 各三錢

錦葵子

各五錢

苦瓠仁

甜瓜子

西瓜仁

榧楂仁

各六錢

甘草糕

スホシイ汁

各三錢

砂糖

適宜

右合メ細末ト爲ス

主治軟和二シ清潔ニスルノ功アリ此二因  
テ勞瘵及欬嗽ヲ治ス又粘稠液胸中ニア  
ルノ諸證ニ良ナリ及肺管ヲ和ク且厚シ濕液  
ヲ乾ス

桃膠錠

白砂糖

極細末百四十四錢

大麥糊

四錢

泥菖根

甘草

極細末八錢

右桃膠ヲ以テ薔薇水ニ浸シ錠ト爲ス  
主治欬嗽ヲ止メ胸肺ノ酷厲液ヲ去リ痰ヲ  
利シ吐出シ易カラシム

香櫞錠

好白砂糖

乾者八錢

香櫞汁

一錢

右二味法ノ如ク煎熬シ錠ト爲ス四錢

復方罌粟舍利別

蜀葵根

甘草根

各十六錢

白罌粟顆

仁ヲサル

皂莢

豆ヲサル各十四錢

右四味宜ニ適フノ水ヲ以テ浸シ氣味ヲ誘

引セシメ常法ノ如ク煮テ渣ヲ去リ漉過シ

テ白砂糖百四十四錢ヲ下シ再ヒ煎熬シテ

濃舍利別ト爲ス

主治急ヲ緩メ痰ヲ化シ且人ヲシテ睡ヲ催

サシム

大棗舍利別

甘草根

石長生草

裸麥

董芍菜

大棗

錦葵子

榧楂子

菘蓬子

各八錢

五錢

六十枚

五錢

甜瓜子

白罌粟子

各三錢

右十味宜ニ適フノ水ヲ以テ煮テ半ヲ減シ  
漉テ渣ヲ去リ白砂糖百九十二錢ヲ加ヘ再  
ヒ煮テ舍利別ト爲ス

主治肺腎二藏ノ諸患ヲ治ス名聲アリ

同略方身生草

大棗

六十枚

大右度ニカナフ水ヲ以テ煮テ熟セルヲ候テ

甘草根

石長生草

ニ味ヲ加ヘ更ニ煎シ漉テ渣ヲ去リ其汁ニ  
雞子白ヲ入レ白砂糖百九十二錢ヲ下ニ煎  
熬シテ浮沫ヲ去リ濃舍利別ト爲ス

滋潤湯

瓜哇水仙根

十六錢

甘草根

三錢

錦葵葉

一溢

白罌粟子

八錢

右四味清水四百錢ヲテ以煮ル一四半時コ  
シテ滓ヲサリ

覆盆子粥

接骨木粥

各八錢

ヲ加攪勻テ全劑ト成ス  
居士云後ノ二粥ヲ用ヒス其四味ヲ水煮テ  
服セシム

